

経営者視点を学ぶ

『パラダイムシフト下でのグローバル経営とは何か？ ～エコシステムで価値創造～』

講師： 岩本敏男

IT未来研究所合同会社 CEO・社長

元 NTTデータ 代表取締役社長



2025年7月8日に、「パラダイムシフト下でのグローバル経営とは何か？～エコシステムで価値創造～」というタイトルで15人の博士課程の学生（数名は海外からの留学生）と4人の教職員に講義を実施した。本セミナーでSTAMP技術経営士が講師を務める5回の講義（経営者視点を学ぶ）の最終回だった。

講義内容

最初に現在世界中で起こっている様々な出来事（政治、軍事衝突、技術進化等）に触れた。戦後80年となる今年、世界はパクスアメリカナ終焉の始まりを強く意識し、世界秩序がどのように変化していくかに注目している。後世の歴史家からみると2020年代は大きな歴史的な変換点というかも知れない。こうしたパラダイムシフト（これまで正しいとされてきた認識や思想、価値観などが劇的に変化すること）の時代に経営者は何を羅針盤として、どう動くべきかが重要だ。

「経営」という言葉の始まりは2000年前の詩経の一節「これを経しこれを営す」にあり、今日風に言うなら「激変する環境にどう事業を適合させていくか」である。具体的な例として、小職が取り組んだバチカン図書館のマニュスクリプト（手書きの手紙、楽譜、絵、書物など）をデジタル・アーカイブするプロジェクトを取り上げ経営のポイントを話した。

質疑応答、感想

当日の質疑応答と、後日寄せられた感想・質問の主なものは、今の世界が激しい勢いでパラダイムシフトしていることの気づきと、そんな環境下でどのように自分を見つめ、今後の進路をどう考えるかといったことであった。デジタルパワーの影響に言及した学生も多かった。さらにM&A戦略も含めてグローバル経営の本質に触れた話をしたこともありグローバル化するときの留意点、特に歴史や文化の大切さに気付いた学生も多かった。総じて5回にわたる技術経営士の講義は大きなインパクトがあったと思う。